

平成 20 年度（2008 年度）第 3 回

中野区都市計画審議会説明資料

目 次

【 報 告 事 項 】

1. 中野区都市計画マスタープラン改定に係る
第一回意見交換会について 1
2. 南部地域の防災まちづくり計画について 5

平成 20 年（2008 年）9 月 17 日
中野区都市計画審議会事務局

1. 中野区都市計画マスタープラン改定に係る第一回意見交換会について

平成20年7月24日から8月7日にかけて開催した、中野区都市計画マスタープラン改定第一回意見交換会の結果について整理すると、以下のとおりである。

(1) 第一意見交換会の概要

会 場	開催日	参加者数
中野区役所 9F会議室	平成20年7月24日(木)	18 人
江古田地域センター	平成20年7月25日(金)	4 人
南中野地域センター	平成20年7月28日(月)	16 人
鷺宮地域センター	平成20年7月31日(木)	43 人
東部地域センター	平成20年8月 4日(月)	19 人
野方地域センター	平成20年8月 7日(木)	16 人
合 計	—	116 人

(2) 第一意見会における意見概要（意見提出用紙・メール等）

意見提出会場	提出人数	提出意見延べ件数
中野区役所 9F会議室	9 人	16 件
江古田地域センター	4 人	3 件
南中野地域センター	2 人	2 件
鷺宮地域センター	18 人	35 件
東部地域センター	9 人	18 件
野方地域センター	4 人	7 件
合 計	46 人	81 件

意見提出方法	提出人数	提出意見延べ件数
メール	1 人	1 件
電話	2 人	2 件

(平成20年8月26日現在)

(3) 主な区民意見の整理

会場で出された意見、意見提出用紙やメールで提出された意見のうち、主要なものを以下に整理する。

種別	主要な意見
全般的事項について	・現在の都市計画マスタープランは15の地域センターごとに区民の意見を積み上げて策定したものだ。改定にあたってその意義を考慮すべきだ。
	・中野がどういう区か性格づけがはっきりしていないので、明確化すべきだ。

全般的事項について	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー世帯が子育てしやすいまちづくりを目指してほしい。女性からみて住みたくなるような好感のもてるまちづくりを進めて下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいと安心は両立しないと思う。住環境を保全すべき地域、賑わいを重視すべき地域を分ける工夫をすべきだ。 ・発展と静かな住環境の維持等、メリハリある柔軟なプランであってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中央線沿線の中で、中野がもっと特徴ある魅力的なまちとなるよう考えてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中野らしいとは何を意味するか思いつかない。区内をいろいろ歩き回っているが、中野は何の特徴も感じられない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・盛り込んである内容は素晴らしいが、これを実現していくための財源のこともある程度記載してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり課題は、中野区だけで解決するのではなく、広域的なまちづくりの中で解決できるものもあると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に伴って生ずる弊害のことも考慮すべきだ。(緑化推進と落ち葉処理など)
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の説明はきれいだが実行できるのか。目標がしっかり実現できるようにしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に合わない部分や新しい課題が出てきたので改定することは理解できるが、住民合意や協働ということはどの時代にあっても必要なことと思うので、考慮すべきだ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・20年先の都市計画は、自分たちのことだけではなく子供たちのことを考えてほしい。
ライフスタイルについて	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の「将来の特徴的なライフスタイル」が実現されれば素晴らしいことだと思う。ぜひこれが実際に実現できる計画をつくってもらいたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来の特徴的なライフスタイル」に、ぜひ高齢者の生活の視点も入れてほしい。障がい者の視点からのまちづくりについても盛り込んでほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の中野区のライフスタイルが魅力的になるような都市計画を進めてください。
賑わい・活力・都市拠点について	<ul style="list-style-type: none"> ・中野駅周辺まちづくりで「中野らしさ」を出してほしい。どこにでもある駅前整備では困る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中野駅周辺まちづくりにおいて、区役所を移転すれば跡地を有効に活用できると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・西武新宿線沿線のまちづくりにおいて、商店街の活性化につながる刺激ある展開のまちづくりを進めてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・西武新宿線の各駅前商店街は考え方が古い。昔から新宿で買い物をしている。

安全・安心について	<ul style="list-style-type: none"> 野方地域は震災時の火災危険度は高いと聞いている。障がい者の立場からはとても不安である。防災機能をもった空間や皆が逃げられる身近な場所があったらよいと思う。
環境・水とみどりについて	<ul style="list-style-type: none"> 国家公務員宿舎跡地の土地利用検討にあたっては、貴重なみどりや生態系についても考慮してほしい。 妙正寺川は大きな洪水を経験している一方、遊歩道ができ地域の重要なまちづくり資源となっている。親水性に乏しいので、親水性と防災性を考慮した河川としてほしい。 校庭の芝生化は結構だが、自由な運動が制限される。自由に運動できる場所をつくれるよう配慮してほしい。 環境の概念をより明確に示してほしい。CO2の排出量を具体的に数値化して描いておく必要があると思う。 成長、発展、高度化の時代ではなくなっている。今後は抑制のきいた計画が望ましい。CO2排出削減に向けたハード・ソフト面の検討が必要。
道路・交通について	<ul style="list-style-type: none"> 区内には狭い道路が多く災害時に心配だ。拡幅してももとに戻した場所もある。きちんと指導・誘導するべきだ。 道路が拡幅されても電柱が残ったままで、長年交通上の支障になっている場所がある。 説明は分かりやすかったが、現実には他区に比べて課題が多い。中野駅からの交通の便や道路整備など、お年寄りが中野駅に気軽に出られるようなまちづくりを考えてほしい。
改定の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの改定にあたって、ホームページでの意見募集や情報提供等を積極的に行ってほしい。 改定にあたって、もっと区民意見を吸い上げる工夫をしてほしい。区民と十分議論を行うべきだ。 現行マスタープランと比べてどこが踏襲され、どこが変わるのか、わかりやすくした方がよい。 町会や商店会にも声がけして意見交換会の情報を二重、三重にも流し、気軽に参加できるようにしてほしい。 次回の意見交換会の事前にできるだけ早く資料を公表し、区民の側でも検討できるように配慮してほしい。 意見交換会は昼間とか土日にしてほしい。 都市計画審議会への諮問は行わないのか。
個別の地域に関する意見 ()内は該当地域	<ul style="list-style-type: none"> 中野の顔として約700年の歴史がある江古田の獅子舞のような伝統を、まちづくりにもっと活用してほしい。(江古田) 野方などの商店街に空き店舗が多くなり、買い物客が少なくなった。商店街の活性化を検討してほしい。(野方) 中野通りは駅から南側は片側一車線で拡幅されていない。狭くて不便。早期に拡幅してほしい。(南中野)

個別の地域に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部防災公園が水と緑の拠点として位置付けられるのは大変良い。(南中野)
()内は該当地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の鷺宮のまちのために「もっと夢のあるまち」、「環境にやさしいまち」、「水が豊かな親水性ある妙正寺川」の提案をしたい。(鷺宮)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境まちづくりの観点から、緑の軸を中杉通り、早稲田通り、新青梅街道、中野通りで囲むことを提案する。(鷺宮)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中杉通りの西武線以南は、歩道が狭い上に電柱が真中にあり、歩くのが非常に危険である。お年寄りが安心して歩けるようになっていない。配慮してほしい。(鷺宮)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中野坂上も中野の顔となってきている。中野坂上周辺のまちづくりにもっと力をいれてほしい。(東部)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東中野2丁目では、マンション建設に伴う近隣トラブルが頻発し苦労している。周辺環境に配慮したマンション建設が行われるまちづくりを進めてほしい。(東部)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鷺宮地域は中野駅への交通の便が悪いので考慮してほしい。新宿区や杉並区に出て行くのが普通だ。(鷺宮)

南部地域の防災まちづくり計画について

1. 計画の概要

区では、広域避難場所に指定された東京大学教育学部附属中等教育学校一帯を中心とした防災拠点の形成を目指している。この広域避難場所を中心とした南台・弥生町地域は、「防災都市づくり推進計画」において、重点整備地域に指定され、早期に防災性の向上を図ることとしている。

これまでこの地域では、耐火建築物を建築される方に対して助成金を交付することにより、延焼遮断帯の整備と地域内の建物の不燃化の促進を図る防災生活圏促進事業(平成7年～平成18年、実績90件)を実施してきた。しかし、不燃化率が50%に達していないなど今後も避難場所や周辺地域の安全性を高めるうえで、より一層不燃化の促進が必要である。

また、避難場所内に(仮称)南部防災公園を整備し、災害時における活動スペースの確保や耐震性貯水槽等の設置など避難場所の防災機能の向上を図る。

2. 不燃化促進事業の導入について

避難場所周辺概ね120mの区域に、高さ7m以上の燃えにくい耐火建築物等の建つ割合を70%以上(平成18年現在、48.5%)とすることで、輻射熱等の影響が緩和され、避難場所の安全確保と利用可能避難面積の拡充を図ることができる。

このように避難場所の安全性を向上させるため、新たに広域避難場所周辺に都市防災不燃化促進事業を導入し、耐火建築物の建築に対して助成することにより、老朽木造家屋等の建替えを促進していくこととする。

また、事業の導入にあたり、広域避難場所周辺地区の都市計画等の変更を予定しており、内容は以下のとおりである。

○変更する地域(別図参照)

弥生町一・三・四丁目の一部、南台一・二丁目の一部

○変更する内容

最低限高度地区(7m)の指定、準防火地域(新たな防火規制区域)から防火地域への変更(別図参照)

○現在までの経過と今後の予定

まちづくりニュース配付：3月下旬

南中野地区町会連合会：7月11日(金)午後5時 南中野地域センター

地域説明会：7月16日(水)午後7時 南中野地域センター

12月頃 都市計画審議会へ報告

平成21年2月頃 都市計画審議会諮問

平成21年度 事業導入予定

3. (仮称)南部防災公園の整備について

広域避難場所に指定されている「東京大学教育学部附属中等教育学校一帯」を中心とした防災拠点の形成と、避難場所の防災機能の向上を図ることを目指し、広域避難場所内に約1haの防災公園を整備する。

防災公園の位置については、平成11年に第三者的立場の専門家で構成する「東大附属学校西側道路とみどりに関する検討会議」より海洋研究所跡地ではなく東大附属の西側とすることが望ましい旨の提案があった。

また、区では南台一・二丁目地区防災街区整備地区計画により、東大附属西側道路の拡幅整備（平成19年10月完了）とあわせて南台二丁目地区からの避難路確保のため、中野通りや方南通りまで地区施設道路網の整備を進めている。これらまちづくりとの整合性を図るため、西側道路に接する東大附属南側部分に防災公園を整備することとしている。

防災公園の整備は、避難場所の防災機能の向上だけではなく、みどりの乏しい南部地域において最大級となるみどりのオープンスペースを創出し、まちの安全・快適性の向上を図るとともに、人びとが集い活動する場づくりに資することとする。

○現在までの経過と今後の予定

まちづくりニュース配付：3月下旬

南中野地区町会連合会：7月11日(金) 午後5時 南中野地域センター

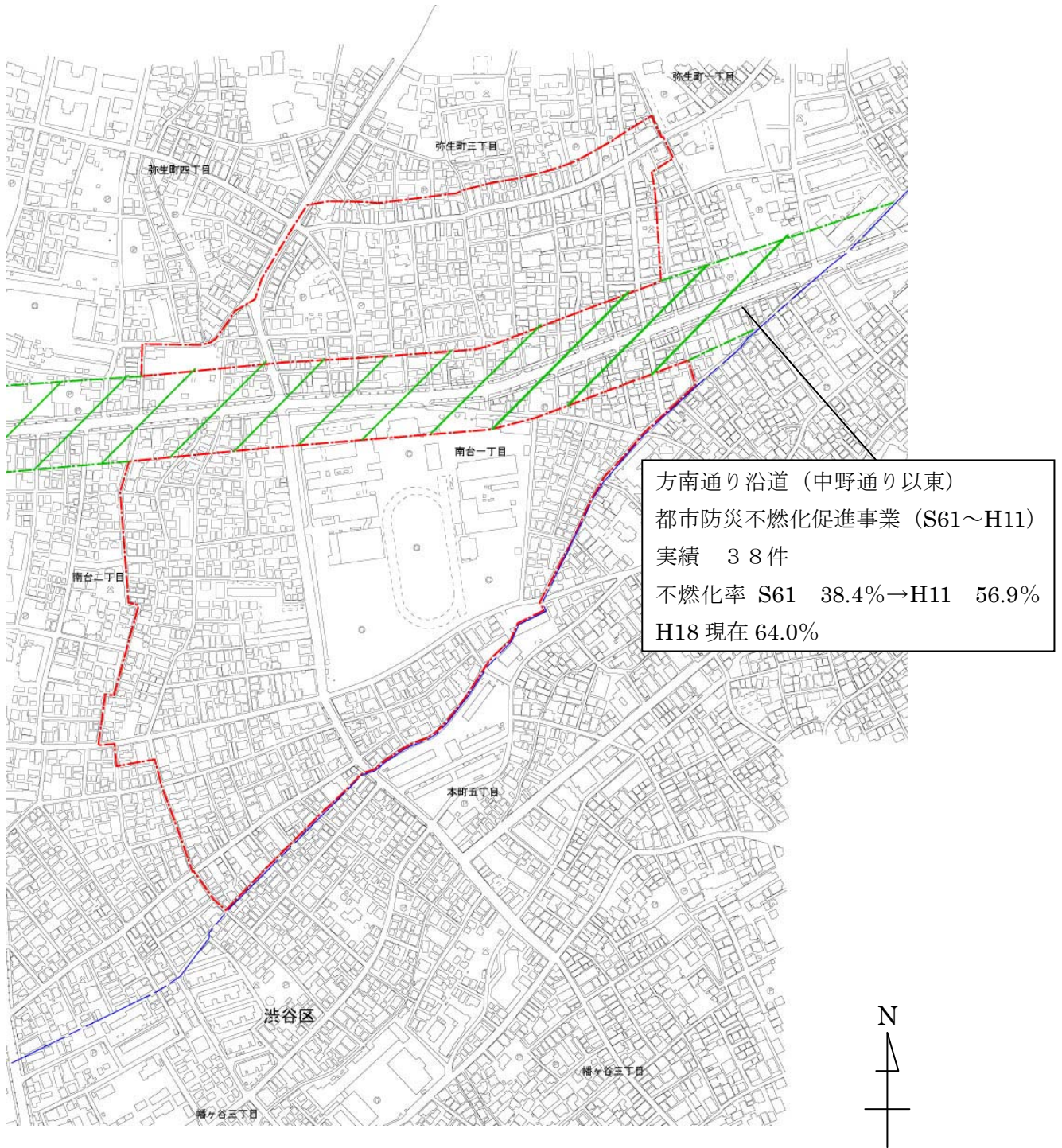
地域説明会：7月16日(水) 午後7時 南中野地域センター

12月頃 都市計画審議会へ報告

平成21年2月頃 都市計画審議会諮問

参 考





準防火地域(新たな防火規制区域)と防火地域の比較

【 現 行 】 準防火地域（新たな防火規制区域）

500㎡超又は4階以上

準耐火建築物	耐火建築物
--------	-------

【変更後】 防火地域

100㎡超又は3階以上

準耐火建築物	耐火建築物
--------	-------